



活動報告書

「ホクリクサンショウウオ増殖池水資源確保と生息環境の整備」

ホクリクサンショウウオを守る会

環境省の絶滅危惧種にランクされているホクリクサンショウウオ (Hynobius takedai)は、全長12cmに満たない小型のサンシュウオで、石川県の能登地方と富山県の一部だけに生息する希少な種である。しかもその生息地が標高約300メートル以下の丘陵部で、人間の生活の場に隣接しているため、都市化等の影響により生息環境の悪化が進んでいる。

石川県下におけるホクリクサンショウウオの生息地域は、宇ノ気町以北から珠洲市にかけての4市14町にわたっていますが、産卵数が減少傾向にあることから、1988年に「ホクリクサンショウウオを守る会」を結成しました。保護増殖池の造成候補地として羽咋市寺家町ウ37番地を定め、1989～1990年に環境庁の補助(事業費 約800万円)を受け、増殖池を造成し、ホクリクサンショウウオ保護・増殖に努めてきました。

しかし、この保護増殖池の水資源が渇水傾向にあるため当該増殖池の上流約250メートルの農業用溜池から導水するために必要な経費の助成を申請した。

活動報告書から抜粋して活動内容等を報告します。

〔活動の状況〕

時系列で活動状況・内容を示すと、次の通りです。

- | | |
|-----------|---|
| 9月18日 | ・石川県羽咋市教育委員会文化財課を訪問し、農業用水溜池からの利水に伴う各種協議を開始した。 |
| 9月25日 | 上記文化財課より農業用水溜池からの導水利用工事許可について利水権のある区長及び関係農家の同意が得られたとの連絡を受ける。 |
| 9月27日 | 産卵期が始まるまでに水を確保するため、ホクリクサンショウウオ増殖池の造成に関与した工事業者に導水管(直径4cm)設置を正式に発注依頼した。 |
| 10月14～15日 | 会員が増殖池周囲の草刈りなどの下準備作業を行った。 |
| 10月16日 | 増殖池から溜池までの導水配管工事を実施し、産卵場所の整備を行った。また、同日、石川テレビで放映され、地元新聞にも取り上げられた。 |
| 10月9日 | 工事終了後の導水量及び漏水の有無等について点検を行った。 |

- 11月7日 ホクリクサンショウウオを守る会の例会を開催し、増殖池の生息環境の整備を行った。
- 11月21日 増殖池周辺の環境整備を行うとともに、観察会を開催して水資源の重要性を強調することを決定した。

[閉じる]